

“しょうちいき つうしん”



編集発行／葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

葛飾区社会福祉協議会

『法人化60周年(創立70周年)記念式典』を開催しました

令和4年11月26日(土)、亀有リリオホールにて法人化60周年(創立70周年)記念式典を開催しました。日頃、社協の運営や活動にご尽力いただいている皆さま、式典にご出席いただいた皆さまに心から感謝を申し上げます。これからも「みんなで創り、育む、安心して暮らせるわがまち葛飾」の実現に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

◇ 当日の様子 ◇

第1部 式典



会長のあいさつや『葛飾社協10年のあゆみ』の報告、これまで社会福祉協議会の活動にご尽力・ご協力いただいた方への感謝状の贈呈、区長やご来賓のみなさまからのご祝辞をいただきました。

第2部 コーラス【コールエレガント(葛飾区民生委員児童委員協議会の有志)】



「葛飾区歌」「ふるさと」など5曲が披露され、式典に花を添えていただきました。

また、アンコールの1曲では、立石地区の澤目さんが歌に合わせた手話ダンスも披露していただきました。

<情報紙に関するご意見・ご要望等>

しょうちいきつうしんは年に4回発行しています。今後、取り上げてほしい情報や内容などがあれば、お気軽に各地区担当へご連絡ください。よろしくお願いいたします。

<もくじ>

- ・法人化60周年記念式典の開催報告 …P1
- ・地域住民福祉活動情報交換会のお知らせ…P2
- ・各地区小地域福祉活動の活動報告 …P2~5
- ・発見！全国各地の小地域福祉活動 …P6

お知らせ

地域住民福祉活動情報交換会 “ウィズコロナ時代の地域福祉活動について考える”

新型コロナウイルス感染症の影響により、現在も各地区の小地域福祉活動は大きな影響を受けています。そのような中、これまで築いてきた“**地域とのつながり**”を保ち続けるために、活動の形を見直し工夫しながら継続や再開する地区も増えています。

今回は、事例報告と講演を通して、小地域福祉活動が果たしている役割や今後の活動について、みなさんと一緒に考える機会とします。

- 1 日 時 令和5年3月24日（金） 午後2時～3時30分
2 会 場 ウェルピアかつしか ボランティア活動室（葛飾区堀切3-34-1）
3 内 容 （1）事例報告
「ウィズコロナに向けた小地域福祉活動の取り組み」
2地区からの実践報告
（2）講演
「新しい地域福祉活動のスタイル」
講師 板倉 香子 氏（洗足こども短期大学 准教授）
4 対 象 19地区小地域福祉活動推進組織委員（各地区1～2名）

ウィズコロナ
新しい
地域福祉活動



※ご案内は、後日推進委員会役員（正副委員長）のみなさんへお送りいたします。

各地区小地域福祉活動の報告（9月～11月）

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行いながら、活動を再開・継続している地区を紹介します。（マスクの着用・検温・消毒・換気などの感染対策を徹底して実施しています。）

〔敬称略〕

立石地区

★たっち会

- 内 容：①新聞棒で健康体操
②おしゃべりタイム
③手話ソング「ふるさと」

日 時：10月8日（土）
午後1時30分～3時

会 場：立石地区センター別館 多目的室
参加者：約30名



昨年に引き続き、2回目の開催です。みんなで笑いあい、楽しく地域のつながりを深めることができました。

各地区小地域福祉活動の報告(9月~11月)

南綾瀬地区

★五後のティー

日時： 9月24日(土) 講談
10月22日(土) 演歌に合わせて踊り
11月12日(土) 元気になろう！介護相談室
※いずれも午後2時~4時

会場：南綾瀬第二集い交流館

参加者：約30名



10月は日本舞踊を披露いただいた後、東京音頭、葛飾音頭をみんなで踊りました。

堀切地区

★ふれあいサロン堀切

内容：お茶のみサロン
日時：毎週火・水・木曜日
午後1時30分~3時30分

会場：堀切地区センター
2階 図書コーナー

参加者：10~15名



※青戸保健センターにご協力いただき、健康講座も開催しています。(月1回)

- ・10月18日(火) 健口寿命を延ばそう
- ・11月15日(火) 転倒予防~転ばぬ先の杖~

亀有地区

★亀有花風船の会

第30回イベントを開催しました。

【花植え・イベント】

日時：10月3日(月) 午前9時~11時

会場：亀有地区センター多目的ホール

※花植えは亀有駅前花壇

参加者：82名



フォーチュンベコニア、スーパーアリッサムなどを植え付けました。



K&K和幸バンドの歌と演奏などを楽しみました。

【花風船の会の取り組み】

●通常活動

亀有駅南口・北口花壇の水やりや花柄摘みを毎週水曜日と土曜日に行っています。

●年間活動

花壇の植え付け後、亀有地区センターにて健康体操や防災のお話を聞くなどの茶話会を年3回開催しています。

各地区小地域福祉活動の報告(9月~11月)

四つ木地区

★歌声喫茶

内 容：季節にまつわる曲、アンケートによる歌手の持ち歌を歌ってみよう。

日 時：10月11日(火) 午後1時30分~3時

会 場：四つ木地区センター3階ホール

参加者：46名



★四つ木の町の音楽会

内 容：荒川ギターコンソート演奏会

日 時：10月30日(日)午後2時~

会 場：四つ木地区センター3階ホール

参加者：100名



歌や音楽を通して地域のつながりを築いています。

★困りごと相談

内 容：四つ木地区にお住まいの高齢者とそのご家族を対象に困りごと相談を受ける(予約不要)

日 時：毎月第2水曜日 午後1時~3時

会 場：四つ木地区センター 2階小会議室



金町地区

★サロン会

内 容：地域の方が気軽に立ち寄れる「サロン」

日 時：毎月第2水曜日 正午~午後3時

会 場：金町地区センター 2階ロビー

参加者：約40名



12月は毛糸でクリスマスツリーを作りました。

★サロンコンサート

内 容：たいら いさお 氏によるふれあいライブ

日 時：毎月第2水曜日 午後1時30分~3時

会 場：金町地区センター 5階ホール

参加者：60名



たいらさんの美しい歌声が響き渡りました。

高砂地区

★見守り活動

内 容：70歳以上の希望者に“さりげない見守り”を行っています。日常生活の困りごとを相談できるように「困ったときの連絡先」も配布しています。

さりげない見守り？

洗濯物が干してあるか、郵便受けにものがたまっていないか、雨戸は閉じたままになっていないかなどを見守りを、近くを通りがかった際などにさりげなく行います。



年1回は安否確認を兼ねた在宅訪問を実施

各地区小地域福祉活動の報告(9月~11月)

東金町地区

★朝のラジオ体操の集い

内 容：ラジオ体操
日 時：毎月第2・4日曜日
午前8時~8時30分
会 場：区立わかば公園
参加者：約30名

“黄色いのぼり旗”
が目印です！



身体を動かすと免疫力もアップ！

新小岩北地区

★落語会

出演者：入船亭扇好
かつしか落扇指南所
日 時：9月10日(土)
午前10時~11時20分
会 場：にこわ新小岩 多目的ホール
参加者：約40名



約3年ぶりのイベントでした。落語を聞いて会場が笑いに包まれました。

奥戸地区

★笑顔で会いましょう

内 容：体操など
日 時：毎週木曜日
午後1時30分~2時30分
会 場：東奥戸集い交流館
参加者：10~15名

★ゆずの会

内 容：脳トレなど
日 時：毎週月曜日
午後1時30分~3時
会 場：西奥戸憩い交流館
参加者：10~15名



脳トレや手芸などを行っています。

★ふれあい交流会

内 容：身体にやさしい健康ウォーキング教室
日 時：11月15日(火)
午後1時30分~3時
会 場：奥戸総合スポーツセンター小体育館
講 師：新津 和明 氏 (アルケル治療院 院長)
参加者：57名



3年ぶりのふれあい交流会でした。
体操を通して、地域のつながりを育みました。



発見！！全国各地の地域福祉活動

このコーナーでは、全国各地で行われている様々な地域福祉活動を紹介しています。

今回は「社協と地域の方が協力して取り組んでいる活動」をテーマに、工夫して“人と人とのつながりを絶やさない”活動を行っている2地域を取り上げご紹介します。

① みんなのハロウィン（香川県 ^{うだつ}宇多津町）

宇多津町では、10月末の土曜日に「みんなのハロウィン」を開催しました。このイベントは「老人クラブ連合会」が行っている「友愛訪問」と「ハロウィン」をコラボしたもので、地域に住む高齢者のお宅に、人気キャラクターの衣装をした元気な子どもたちが訪問しました。

当日、集まった子どもたちや大人は総勢50名となり大盛況。

この試みを通して、高齢者を元気づけるとともにコロナ禍で活気のない町を明るく元気にすることをめざしました。さらに、子どもたち自身にとっても、地域に住む高齢者の存在や生活の様子を知ること、お互いに顔見知りとなり、防災にも強い「向こう三軒両隣の間柄」を築くきっかけにもなりました。



② きみの知らないかたのザ★クイズラリー（大阪府 ^{かたの}交野市）

コロナ禍で様々なイベントが中止となるなか、「外出するきっかけや子どもたちの思い出づくりとなるイベントで、親子・友だち同士での楽しい時間を過ごしてもらいたい！」との思いから、交野市内の小中学生を対象とした非接触型のクイズラリーを企画しました。

参加者が地図を片手に中学校圏域をまわることで、知らなかった交野の魅力を発見したり、地域には多様な人々がともに暮らしていることを知る機会となりました。保育・高齢・障がいなど20カ所の施設がクイズラリーの拠点となって、各施設にクイズ看板を設置し、クリアすれば認定証と景品をGET！できるという仕組みです。

このイベントを通して、外出のきっかけづくりや人との関わり大切さ、地域の魅力を学ぶとともに、住民と福祉事業所が交流するきっかけにもなりました。



Point ご紹介した地域では、コロナ禍も工夫して“支えあいの地域づくり”に取り組んでいます。



- ① 多様な世代が交流する取り組み
- ② 住民と福祉事業所が交流する取り組み

全国の事例は、全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』より引用しています。コロナ禍において、少しでもみなさまが地域でつながりを絶やさないための活動を続けていくヒントになれば幸いです。

全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』ホームページはこちら

<https://tunagari-action.jp/>

